



【プレイ人数】: 2~6人 【プレイ時間】: 60分 【対象年齢】: 10歳以上
【ゲームデザイン】: ウヴェ・ローゼンベルク 【ルール和訳】: 海長とオビ湾

ゲームの概要

この“繊細な”カードゲームにおいて、皆さんはピザ屋のクックさんになります。

ウェ이터から受けた注文を良くみて、オーダー通りのピザが出来るようにオープンに具材を入れていきます。一通り具材をオープンに入れ終わったら、今度はピザが注文通りに完成しているか確認します。もし注文どおりのピザにならないようであれば、それはまた焼き直しにしなければなりません。ゲームを3ラウンド行って、最もたくさんのピザを焼くことが出来た人が勝利します。

内容物

- ・ ルールブック 1冊
- ・ カード 180枚(具材90枚、レシピ90枚)



(具材: 左から、パイナップル、オリーブ、ピーマン、マッシュルーム、サラミ、エビ)



(レシピ: 15枚のセットが6色)

ゲームの準備

5人以下でゲームを遊ぶときは、以下の通り具材カードを取り除いてください。

- 5人のとき: 各具材を1枚ずつ
- 4人のとき: 各具材を3枚ずつ
- 3人のとき: 各具材を5枚ずつ
- 2人のとき: 各具材を7枚ずつ

これらのカードは箱の中に戻してください。

具材カードをよく混ぜて、各プレイヤーに

8枚ずつ伏せて配ります。これが最初の手札になります。

残った具材カードは伏せた山にしてテーブルの中央に置きます。これがゲーム中、具材カードの山札となります。

各プレイヤーは自分の色を決めて、対応する色のレシピカード15枚を受け取ります。受け取ったレシピカードはよく混ぜて伏せた山にして自分の前に置きます。この山を、“ウェ이터”と呼びます。その後、自分のウェ이터の1番上から1枚を取り、先ほどの8枚の具材カードと一緒に手札に加えます。(これにより最初の手札は合計9枚になります。)

具材カードの山から近いところに、これからゲーム中にカードを置くスペースを確保してください。このカードを置くスペースを“オープン”と呼びます。この“オープン”には、ゲーム中に具材カードやレシピカードが置かれていくことになります。

もっともお腹の空いている人がスタートプレイヤーになります。それ以降の順番は時計回りで進めるようにします。

ゲームの進め方

ゲームには大きく分けて2つのフェイズがあります。

全てのプレイヤーがカードをオープンに出していき、具材カードの山札がなくなるまで続けます。

オープンの具材カードとレシピカードを1枚ずつ取り出し、レシピカードのピザが完成しているかを確認します。

【 の進め方】:オープンにカードを入れる。

手番になったら自分の手札から具材カードを少なくとも1枚、オープンのスペースに出さなければなりません。オープンに出されるカードはオープンの山として上に積み重ねられていきます。

このとき、同じ種類のカードであれば1枚以上出しても構いません。ただしそうするときは、具材の名前と、何枚出したかを宣言しなくてはなりません。(例:「サラミ3枚!」)

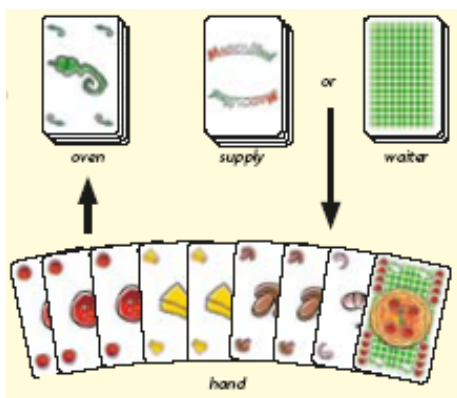
その後、希望するのであれば追加でレシピカードを出すことができます。(大抵の場合、レシピカードを出すのは、そのレシピカードに必要な具材がそれまでにオープンに揃っている自信があるときでしょう。)

手番の最後に、プレイヤーはカードを補充します。カードを補充するときは具材カードの山から補充するか、レシピカードの山から補充するかのどちらかを選びます。

補充は手札が9枚になる枚数まで補充できます。ただし、1回の手番で補充できる最大の枚数は5枚までです。6枚以上補充することはできません。そのため、手番が終了したときに手札が9枚に満たないこともありえます。

ヒント:具材カードとレシピカードをバランス良く持っていることがゲームを上手に進めるコツです。初心者の方は、具材カードとレシピカードの比率を2:1と覚えておくと良いでしょう。

以上の進め方で手番が終了したら、時計回りで次のプレイヤーに手番が移ります。



具材山札の最後のカードを補充するとき具材カードの最後のカードが補充されたとき(具材カードの山札が無くなったとき)、そこで

のフェイズが即座に終了します。

このとき手札が9枚まで補充されていないとしても、具材カードは残っていませんのでそれ以上補充することはできません。これにより、次に手番で補充が行われるまで9枚に満たない手札でゲームを進めることになります。

以上のように具材カードの最後の1枚を手札に補充したプレイヤーは、次のラウンドのスタートプレイヤーになります。さらにこのプレイヤーは、次のフェイズでオープンからカードを取り出す役割になります。

【 の進め方】:ピザを完成させる。

オープンからカードを取り出す役割のプレイヤーは、オープンの山札を取り、カードの裏側が上に来るようにオープンの山をひっくり返します。(カードの順番は変わらないことに注意してください!)

その後裏返したオープンの山札上から1枚ずつカードを表返していき、ピザが出来上がるかどうかをチェックしていきます。

表返した具材カードは種類別にわけておき、さらに同じ種類のカードは少しずつずらしておくと良いでしょう。こうすることでどの具材が何枚表返されて溜まっているのかが一目でわかるようになります。

レシピカードが表返されたら、そのレシピのピザが完成するかどうかのチェックを行います。ピザを完成させるには、レシピカードに示されているだけの具材カードが必要になります。これらの必要な具材がそれまでに溜まっている具材に十分なだけあれば、ピザは完成します。また、十分な具材カードがそれまでに溜まっていなくても、足りない具材カードを自分の手札から即座に出すことで、ピザを完成させることができます。

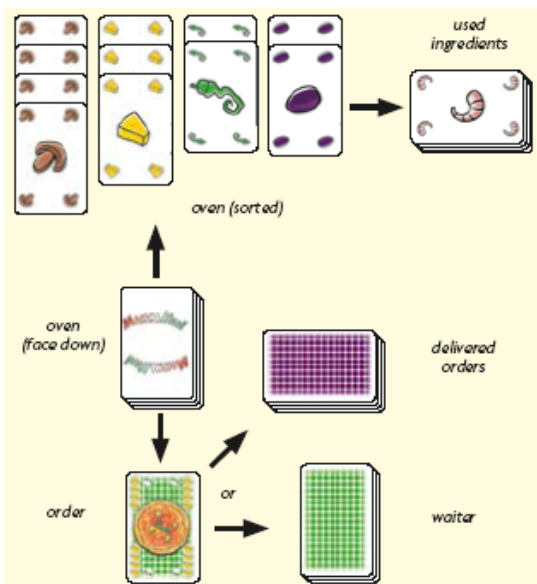
ピザを完成させるのに必要な具材カードがそれまでにテーブル上に溜まっていたら、ピザを完成させることができます。ピザを焼くために使用した具材カードは、表向きの捨て札としてテーブルの脇に重ねていきます。ピザを完成させたレシピカードは、裏向きの山としてテーブルの中央に重ねていき、完成したピザの山を作りま

す。

ピザを完成させるのに必要な具材カードがそれまでにテーブル上に溜まっていなかった場合は、それを補うために、足りない具材カードを手札から出すことができます。(もちろん、レシピカードの所有者が行うことです。)またそれ以外の方法として、他のプレイヤーにヘルプを求めることもできます(後述)。なににせよ、足りない具材カードを補うことさえできれば、ピザを完成させることができます。それができなければ、レシピカードは持ち主のウェイトアの山の一番下に戻します。

重要:ピザを完成させた後にテーブルの上に残っている具材カードは、そのままテーブルの上に残り続けます。(以降のピザ完成のための具材となります。)

例:下の図で、テーブル上にはマッシュルーム4枚、パイナップル3枚、ピーマン2枚、オリーブ2枚が置かれています。この時、緑のプレイヤーのレシピ(ピーマン1枚+パイナップル4枚)がめくられました。



緑のプレイヤーはパイナップルが1枚足りません。彼は自分の手札からパイナップルを1枚出して足りない分を補うことにしました。5枚の具材カード(パイナップル4枚+ピーマン1枚)は使用済みの具材カードの山(上図右上)に捨てます。完成したレシピカードは完成したピザの山に裏向きにして加えます。テーブルに残った具材カードはそのままにして、オープン

の次のカードをめくり、のフェイズを続けます。

オープンのカードを全てめくり終えるまで、のフェイズは続きます。

全てのカードがめくり終えたら、テーブルの上に残っているカードをひとまとめにして、テーブルの中央に表向きの山にします。これは次のラウンドに持ち越されて、あらたなオープンの山(でカードを出すところ)になります。

のフェイズで使われた具材カードの捨て札の山は、良く混ぜて、次のラウンドの具材カードの山(カードを補充するための山)になります。次のラウンドは、前のラウンドで具材カードの山を切らせたプレイヤーから始めます。

重要:2回目以降のラウンドでは、手札が9枚に満たない枚数でスタートとするプレイヤーがいることもありえます。これらのプレイヤーは、次の手札補充のタイミングまでカードを補充することができません。また、1枚も手札がない状態でスタートしたプレイヤーは、最初の手番で手札を補充することしか出来ません。(もちろん、この時補充できる枚数は5枚が限度です。)

ヘルプを求める

プレイヤーが自分自身の手でレシピを完成させることができないか、もしくは手札を出したくない場合に、他のプレイヤーへヘルプを求めることができます。

ヘルプを求めることにしたプレイヤーは、何が足りないのかを宣言した上で左隣のプレイヤーから順にヘルプしてもらえるかどうか確認していきます。(例:マッシュルーム2枚とサラミ1枚欲しい!)

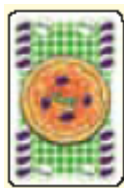
ヘルプに応えることにするプレイヤーは、足りないと言われた具材カードが手札にあり、それを提供できなければなりません。また、ウェイトアの山に少なくとも1枚のレシピカードが残っていなければなりません。ヘルプに応える場合は、まず求められているカードを全て提供します。このとき、求められているカードを全て出せなくてははいけません。中途半端に要望に応えることはそもそもできません。こうするこ

とでヘルプを求めたプレイヤーは無事にピザを完成させることができます。

ヘルプに応えたプレイヤーはその報酬として、自分のウェーターの山の一番上のレシピカードを1枚とり、その内容を見ないままテーブル中央の完成したピザの山に置くことができます。このレシピカードは手札から出すことはできません！

もし誰もヘルプに応えてくれない場合は、そのピザが完成することはありません。仮にヘルプを求めたプレイヤーが自分の手札から足りない具材カードを出せる状況だとしても、それをすることはできません。

例：今、テーブルにはマッシュルーム4枚、オリーブ2枚、ピーマン1枚が置かれています。この状況で緑のプレイヤーのオリーブ4枚、ピーマン1枚のレシピカードが出てきま



した。テーブル上の具材ではオリーブが2枚足りません。しかし緑のプレイヤーの手札にはオリーブが1枚しかありません。そこで他のプレイヤーにヘルプを求めることにし、「オリーブ1枚を出してくれませんか？」と宣言しました。左隣のプレイヤーはヘルプをしない(できない、もしくはしたくない)と返答しました。さらにその左隣のプレイヤーはオリーブが手札にあったため、ヘルプに応じることにし、オリーブ1枚をテーブルに出しました。ヘルプに応じたプレイヤー以降のプレイヤーにはヘルプを問う必要はありません。これにより緑のプレイヤーのピザは完成し、レシピカードを“完成したピザの山”に置かれます。さらにヘルプに応じたプレイヤーは自分のウェーターの山の一番上のレシピカードを取り、内容を見ないまま“完成したピザの山”に置きます。テーブル上のオリーブ4枚、ピーマン1枚は使用済みのカードの山に捨てられます。

重要：ゲームをはじめる前にプレイヤー同士で話し合い、ヘルプを使用しないことにしても構いません。また、2人で遊ぶ場合はヘルプを使用することはできません。

ゲームの終了

3ラウンドが終了したら即座にゲームが終了します。

重要：ヘルプを使用しない場合は4ラウンドが終了したときにゲームが終了します。

最後にオープンから具材を取り出す係りをしたプレイヤーは、“完成したピザの山”をプレイヤーの色毎に分けてください。

最も沢山のピザを完成させたプレイヤーが勝利します。


もし完成させた数が同じプレイヤーが複数いた場合は、その時点で最も手札の多いプレイヤーが勝利します。それでも同じ場合は勝利(と、ついでにピザも)を分かち合ってください。

【レシピカード一覧】


まず、各プレイヤーの色は担当するレシピカードにも関係しています。赤はサラミ、黄色はパイナップル、緑はピーマン、茶色はマッシュルーム、紫はオリーブ、ピンクはエビです。これらの関係する具材がレシピカードに多く含まれていることを知っておくと良いでしょう。

Pizza Normale



 全てのプレイヤーは1枚の担当する具材と、それ以外の具材複数によるレシピカードを7枚持っています。これらのレシピカードは示されている具材があれば完成させることができます。


Pizza Bombastica


 このピザを完成させるには少なくとも15枚の具材カードが必要です。15枚以上であれば何の具材であっても構いません。また、このピザを完成させる場合はテーブル上の全ての具材が使用されることになります。

Pizza Monotoni / Pizza Ghiottona


レシピカード上の **J** のマークはジョーカーを意味しています。このマークがある場合は自分の色に対応する具材と、テーブルに1枚も出していない具材であれば、どの具材でも1種類を選んで使用することができます。


J / J のように2種類のジョーカーマークが示されている場合は、違う種類の具材を2つ選んで使用します。


 Pizza Monotoniを完成させるには、自分の色に対応する具材と、ジョーカーで6枚の具材が必要です。

 Pizza Ghiottonaを完成させるには自分の色に対応する具材と、ジョーカーで2種類の具材がそれぞれ4枚ずつ必要です。

Pizza Monotoni junior / Minipizza


レシピカード上に  のマークがある場合は、その具材がテーブル上にあるとピザを完成させることができません。もし1枚でもこのマークに示されたカードがテーブル上にある場合は、そのレシピカードは持ち主のウェーターの山の一番下に戻してください。

 Pizza Monotoni juniorを完成させるには、自分の色に対応する具材がテーブル上に1枚も無い状態で、ジョーカーで5枚の具材が必要です。

 Minipizzaを完成させるには、自分の色に対応する具材がテーブル上に1枚も無い状態で、示されている具材が3枚必要です。

Pizza Minimale


Pizza Minimaleを完成させるには、自分の色に対応する具材1枚と、それ以外に4枚の具材カードが必要です。

レシピカード上に  のマークが示されている場合は、その時点でテーブル上に1枚以上出ている具材の中で、最も枚数の少ない具材を使用しなければなりません。このとき、1枚もテーブル上に出していない具材は除いて考えます。最も枚数の少ない具材が複数ある場合は、その中からどれか1種類を選んで構いません。



例: 上の図では赤のプレイヤーはピーマンかマッシュルームのどちらかを選んで使用することができます。

Pizza Mamma Mia

 Pizza Mamma Miaを完成させるには自分の色に対応する具材1枚と、示されている2種類の具材の中から1種類を選び、5枚の具材カードが必要になります。